

科目名	英語 2 I					単位	1.0
担当教員	船津 明生						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	3404

●授業のテーマ

英語という外国語を使って自分の考えていることを相手に伝える。

●到達目標

英語でスピーチ原稿を書き、ネイティブ・イングリッシュ・スピーカーの前で「英語でスピーチ」ができるようになる。

●学習内容(授業概要)

この授業は自分のことや日本のことを<英語で>表現することを学ぶ授業です。自分がしたいこと、今考えていることなど、いつも日本語で言っていることを英語で表現するために必要なことを勉強します。

たとえば、あなたがパーティに招かれて「英語」で話している状況を思い浮かべて下さい。聞いている人達が知りたいのは、あなたの生まれた町のことや日本の歴史、日本の若者が何を考えているかなどではないでしょうか。そこで求められるのは、英語を母国語としている人々に日本的な事物をよりよく理解してもらうための英語表現です。自分を表現する手段としての英語を学び、あわせて日本人に多い「英語コンプレックス」を解消していきたいと思えます。

そのために、前期で行った演習をふまえ、後期は、英文和訳演習と和文英訳演習に取り組み、最後に自分が話したいテーマを決め、英語で原稿を書き、スピーチを行うということを目指します。

●学習内容(授業計画)

1. 英文読解演習 小説
2. 英文読解演習 小説
3. 英文読解演習 エッセイ
4. 英文読解演習 エッセイ
5. 英文読解演習 評論文
6. 英作文演習 主語と動詞
7. 英作文演習 aとtheの違い
8. 英作文演習 受動態と能動態
9. 英作文演習 代名詞
10. 小テスト
11. スピーチ原稿準備 テーマ設定
12. スピーチ原稿準備 内容検討
13. スピーチ準備準備 添削
14. スピーチ準備 朗読
15. スピーチ

●準備学習・事後学習の内容

準備学習：毎回のプリントの下調べ。

事後学習：毎回のプリントの内容を復習し、スピーチに使えるような表現をピックアップする。

●成績評価方法・基準

まず出席を重視します。(30%)

授業への参加度、小テストなどの平常点(30%)

後期試験であるスピーチ(40%)

以上により総合的に判断します。

●テキスト(必携)

毎回プリントを配布します。

●参考文献/その他

授業の中で指示します。

●履修上の注意

毎回プリントを配布しますのでファイルに綴じてください。また、積極的に授業に参加することが求められます。授業中に携帯を操作した学生は教室から退出してもらいます。辞書を持参しない学生は欠席とします。